

= 基本カリキュラムの解説 =

1 導入 (3分)

- (1) 自己紹介
双方向型でコミュニケーション (講習前の硬い空気感を和らげよう)
- (2) 講習内容及び到達目標の説明
保護者監視員とは・・・専属監視員の補助
専属監視員とは・・・救命活動を実際に実施 (心肺蘇生法・AED など)

行動目標 (補助とは)

- (ア) 119 番通報
- (イ) AED の準備
- (ウ) 他児童の保護管理
- (エ) 胸骨圧迫
- (オ) 救急車の誘導

専門的
知識判断
は不要

2 行動目標の説明 (12分)

- (ア) 119 通報時のやり取り
 - ・ 火事ですか？救急ですか？ (救急です)
 - ・ 住所を教えてください (学校名を伝える「熊本市立〇〇小学校です」)
 - ・ 誰がどうしましたか？ (プールで・・・が・・・
溺れた ケガ 体調不良など
その他の質問 (意識は？呼吸の様子は？ 顔色、表情は？)
 - ・ 救急車の誘導をお願いします (正門側に・・・体育館側に・・・)
- (イ) AED の準備 → すぐに持ってくることを重点的に説明する
 - ・ ①設置場所の確認 ②専属監視員の補助 (濡れた体を拭く等)
- (ウ) 他の児童を保護、管理できること
 - ・ PTSD (心的外傷後ストレス障害) ⇒ 心の傷を残させないように配慮しよう
(現場から離れて教室などに移動 ⇒ 誘導中は怪我に注意)
- (エ) 胸骨圧迫 → 後半の実技で説明・指導する
- (オ) 救急車の誘導ができること
正門・裏門・プール横など ※プールサイドまでは人と担架などが通れる通路を確認

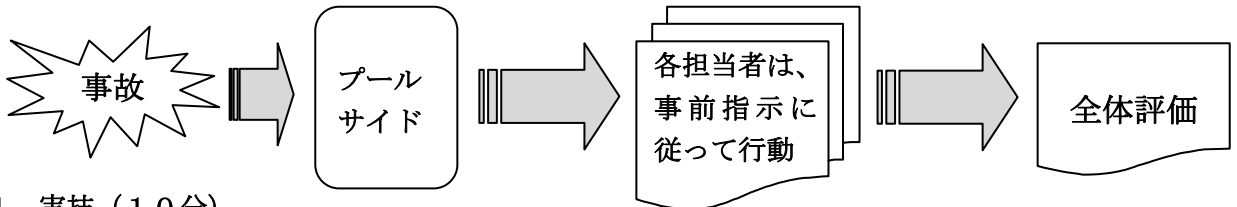
学校名を伝えれば場所は分かる

15分

45分

3 シミュレーションの流れ (15分)

※プールサイド ~ 救急隊到着まで



15分

4 実技 (10分)

- (1) 胸骨圧迫 (指導内容)
 - ・ 位置：胸の真ん中 ・ 強さ：5 cm以上 ・ 速さ：100~120 回/分 ・ 絶え間なく
 - ※保護者等から要望があれば、AED の使用法について実施することも可

10分

5 まとめ (5分)

- (1) 1 から 4 までの内容を振り返り、知識の理解度と定着度を確認しよう
- (2) 理解されていない部分は、再度展示して、見せる効果で確認しよう

5分